



## 安全データシート

Copyright, 2025, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

|       |            |      |            |
|-------|------------|------|------------|
| SDS番号 | 07-2371-8  | 版    | 10.00      |
| 発行日   | 2025/04/10 | 前発行日 | 2024/05/12 |

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>TM</sup> ケーブルクリーナー CC-90

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

ケーブル・シースと絶縁体を拭く

#### 1.3. 会社情報

|      |                    |
|------|--------------------|
| 供給者  | スリーエム ジャパン株式会社     |
| 所在地  | 本社 東京都品川区北品川6-7-29 |
| 担当部門 | 電力マーケット技術部         |
| 電話番号 | 042-770-3491       |

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

誤えん有害性： 区分 1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分 3

水生環境有害性 短期（急性）： 区分 3

#### GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

感嘆符 健康有害性

ピクトグラム

**危険有害性情報**

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
 H336 眠気又はめまいのおそれ

H402 水生生物に有害

**注意書き****一般：**

P102 子供の手の届かないところに置くこと。  
 P101 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

**安全対策**

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
 P271 野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 P280E 保護手袋を着用すること。  
 P273 環境への放出を避けること。

**応急措置**

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 P331 無理に吐かせないこと。  
 P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。  
 P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

**保管**

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 P405 施錠して保管すること。

**廃棄**

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

**その他の有害性**

反復曝露すると皮膚の乾燥またはひび割れを起こすかもしれない。

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

| 成分            | CAS番号      | 重量%     |
|---------------|------------|---------|
| コットンパッド       | 9004-34-6  | 40 - 60 |
| ノルマルパラフィン（石油） | 64771-72-8 | 44      |
| D-リモノン        | 5989-27-5  | 0.45    |

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

応急処置は不要。症状が続く場合には医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

誤えん性肺炎（咳、あえぎ、窒息、口の灼熱感、呼吸困難）。中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。

### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素

二酸化炭素

刺激性蒸気あるいはガス

#### 条件

燃焼中

燃焼中

燃焼中

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照す

る。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

### 保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

| 成分                     | CAS番号     | 政府機関      | 許容濃度または管理濃度                                                                     | 備考 |
|------------------------|-----------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------|----|
| D-リモネン                 | 5989-27-5 | AIHA      | TWA:165.5 mg/m <sup>3</sup> (30 ppm)                                            |    |
| クラス1及び2以外の有機及び無機粉塵、総粉塵 | 9004-34-6 | JSOH OELs | TWA(総粉じんとして)(8時間):8 mg/m <sup>3</sup> ; TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):2 mg/m <sup>3</sup> |    |
| コットンパッド                | 9004-34-6 | ACGIH     | TWA:10 mg/m <sup>3</sup>                                                        |    |
| 不活性あるいは有害なダスト          | 9004-34-6 | JSOH OELs | TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ; TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>         |    |

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m<sup>3</sup> : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。  
サイドシールド付安全メガネ

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。  
推奨される手袋の材質 : ニトリルゴム

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ニトリル製エプロン

#### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する :  
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

|               |           |
|---------------|-----------|
| 外観            | 固体        |
| 物理的状态:        | 不織布       |
| 色             | 白色        |
| 臭い            | わずかなシトラス臭 |
| 臭いの閾値         | データはない。   |
| pH            | 適用しない     |
| 融点・凝固点        | データはない。   |
| 沸点, 初留点及び沸騰範囲 | データはない。   |
| 引火点           | 90 °C     |

|                                             |                     |
|---------------------------------------------|---------------------|
| 蒸発速度                                        | 0.02 [参照基準：酢酸ブチル=1] |
| 引火性                                         | 適用しない               |
| 燃焼点（下限）                                     | データはない。             |
| 燃焼点（上限）                                     | データはない。             |
| 蒸気圧                                         | データはない。             |
| 相対蒸気密度                                      | データはない。             |
| 密度                                          | データはない。             |
| 比重                                          | 0.77 [参照基準：水=1]     |
| 溶解度                                         | なし。                 |
| 溶解度（水以外）                                    | データはない。             |
| n-オクタノール/水分配係数                              | データはない。             |
| 発火点                                         | データはない。             |
| 分解温度                                        | データはない。             |
| 動粘度                                         | データはない。             |
| 揮発性有機化合物                                    | データはない。             |
| 揮発分                                         | データはない。             |
| 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物<br>（JIS-GHSの要求項目ではない） | データはない。             |

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

|      |       |
|------|-------|
| 粒子特性 | 適用しない |
|------|-------|

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

火花及び／ないし炎

#### 混触危険物質

強酸化性物質

#### 危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

### 毒性学的影響に関する情報

#### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

#### 吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚の脱脂（長期または反復暴露）：予想される徴候と症状としては、局所的な発赤、かゆみ、皮膚の乾燥及びひび割れがある。

#### 眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

#### 飲み込んだ場合

化学性（吸引性）肺炎：せき、呼吸困難、喘鳴、血痰及び肺炎などの症状が発現し、死に至ることがある。胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

### その他健康影響情報

#### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制：頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

#### 急性毒性

| 名称            | 経路               | 生物種 | 値又は判定結果                        |
|---------------|------------------|-----|--------------------------------|
| 製品全体          | 経口摂取             |     | 利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg |
| コットンパッド       | 皮膚               | ウサギ | LD50 > 2,000 mg/kg             |
| コットンパッド       | 吸入－粉塵 / ミスト（4時間） | ラット | LC50 > 5.8 mg/l                |
| コットンパッド       | 経口摂取             | ラット | LD50 > 5,000 mg/kg             |
| ノルマルパラフィン（石油） | 皮膚               | ウサギ | LD50 > 5,000 mg/kg             |
| ノルマルパラフィン（石油） | 経口摂取             | ラット | LD50 > 5,000 mg/kg             |
| D－リモネン        | 吸入－蒸気            | マウス | LC50 > 3.14 mg/l               |

|        | (4 時間) |     |                    |
|--------|--------|-----|--------------------|
| D-リモネン | 皮膚     | ウサギ | LD50 > 5,000 mg/kg |
| D-リモネン | 経口摂取   | ラット | LD50 4,400 mg/kg   |

ATE=推定急性毒性

#### 皮膚腐食性／刺激性

| 名称            | 生物種    | 値又は判定結果  |
|---------------|--------|----------|
| コットンパッド       | 入手できない | 刺激性なし    |
| ノルマルパラフィン（石油） | ウサギ    | ごく僅かな刺激臭 |
| D-リモネン        | ウサギ    | 刺激物      |

#### 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

| 名称            | 生物種    | 値又は判定結果 |
|---------------|--------|---------|
| コットンパッド       | 入手できない | 刺激性なし   |
| ノルマルパラフィン（石油） | ウサギ    | 軽度の刺激   |
| D-リモネン        | ウサギ    | 軽度の刺激   |

#### 呼吸器感作性または皮膚感作性

##### 皮膚感作性

| 名称            | 生物種 | 値又は判定結果   |
|---------------|-----|-----------|
| ノルマルパラフィン（石油） | ヒト  | 区分に該当しない。 |
| D-リモネン        | マウス | 感作性あり     |

##### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い。

#### 生殖細胞変異原性

| 名称            | 経路       | 値又は判定結果 |
|---------------|----------|---------|
| ノルマルパラフィン（石油） | In vitro | 変異原性なし  |
| ノルマルパラフィン（石油） | In vivo  | 変異原性なし  |
| D-リモネン        | In vitro | 変異原性なし  |
| D-リモネン        | In vivo  | 変異原性なし  |

#### 発がん性

| 名称            | 経路        | 生物種 | 値又は判定結果            |
|---------------|-----------|-----|--------------------|
| ノルマルパラフィン（石油） | 特段の規定はない。 | マウス | 発がん性なし             |
| D-リモネン        | 経口摂取      | ラット | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |

#### 生殖毒性

##### 生殖発生影響

| 名称            | 経路 | 値又は判定結果          | 生物種 | 試験結果      | ばく露期間 |
|---------------|----|------------------|-----|-----------|-------|
| ノルマルパラフィン（石油） | 皮膚 | 雄について生殖毒性は区分に該当し | ウサギ | NOAEL 500 | 4 週   |

|        |      |                     |         |                   |            |
|--------|------|---------------------|---------|-------------------|------------|
|        |      | ない。                 |         | mg/kg/日           |            |
| D-リモノン | 経口摂取 | 雌について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット     | NOAEL 750 mg/kg/日 | 交配前および妊娠中。 |
| D-リモノン | 経口摂取 | 発生毒性区分に該当しない。       | 多種類の動物種 | NOAEL 591 mg/kg/日 | 器官発生期      |

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

| 名称            | 経路     | 標的臓器     | 値又は判定結果            | 生物種      | 試験結果              | ばく露期間 |
|---------------|--------|----------|--------------------|----------|-------------------|-------|
| ノルマルパラフィン（石油） | 皮膚     | 末梢神経系    | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | ウサギ      | LOAEL 5,000 mg/kg | 24 時間 |
| ノルマルパラフィン（石油） | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。       | 専門家による判断 | NOAEL 入手できない      |       |
| ノルマルパラフィン（石油） | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激  | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |          | NOAEL 入手できない      |       |
| ノルマルパラフィン（石油） | 経口摂取   | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。       | 専門家による判断 | NOAEL 入手できない      |       |
| D-リモノン        | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激  | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | 類似健康有害性  | NOAEL 入手できない      |       |
| D-リモノン        | 経口摂取   | 神経系      | 区分に該当しない。          |          | NOAEL 入手できない      |       |

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

| 名称            | 経路   | 標的臓器                                                       | 値又は判定結果   | 生物種 | 試験結果                  | ばく露期間 |
|---------------|------|------------------------------------------------------------|-----------|-----|-----------------------|-------|
| ノルマルパラフィン（石油） | 皮膚   | 造血器系   肝臓   末梢神経系   腎臓および膀胱                                | 区分に該当しない。 | ウサギ | NOAEL 500 mg/kg/day   | 4 週   |
| D-リモノン        | 経口摂取 | 腎臓および膀胱                                                    | 区分に該当しない。 | ラット | LOAEL 75 mg/kg/day    | 103 週 |
| D-リモノン        | 経口摂取 | 肝臓                                                         | 区分に該当しない。 | マウス | NOAEL 1,000 mg/kg/day | 103 週 |
| D-リモノン        | 経口摂取 | 心臓   内分泌系   骨、歯、爪及び/又は毛髪   造血器系   免疫システム   筋肉   神経系   呼吸器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 600 mg/kg/day   | 103 週 |

## 誤えん有害性

| 名称            | 値又は判定結果 |
|---------------|---------|
| ノルマルパラフィン（石油） | 誤えん有害性  |
| D-リモノン        | 誤えん有害性  |

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場

合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

## 生態毒性

### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

| 材料            | CAS番号      | 生物種           | 種類                        | ばく露   | テストエンドポイント | 試験結果       |
|---------------|------------|---------------|---------------------------|-------|------------|------------|
| コットンパッド       | 9004-34-6  | 該当なし          | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし  | 該当なし       | 該当なし       |
| D-リモノン        | 5989-27-5  | ファットヘッドミノウ（魚） | 実験                        | 96 時間 | LC50       | 0.702 mg/l |
| D-リモノン        | 5989-27-5  | 緑藻類           | 実験                        | 72 時間 | ErC50      | 0.32 mg/l  |
| D-リモノン        | 5989-27-5  | ミジンコ          | 実験                        | 48 時間 | EC50       | 0.307 mg/l |
| D-リモノン        | 5989-27-5  | ファットヘッドミノウ（魚） | 実験                        | 8 日   | EC10       | 0.32 mg/l  |
| D-リモノン        | 5989-27-5  | 緑藻類           | 実験                        | 72 時間 | ErC10      | 0.174 mg/l |
| D-リモノン        | 5989-27-5  | ミジンコ          | 実験                        | 21 日  | NOEC       | 0.153 mg/l |
| ノルマルパラフィン（石油） | 64771-72-8 | 該当なし          | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし  | 該当なし       | 該当なし       |

## 残留性・分解性

| 材料            | CAS番号      | 試験の種類   | 期間   | 試験の種類          | 試験結果         | プロトコル              |
|---------------|------------|---------|------|----------------|--------------|--------------------|
| コットンパッド       | 9004-34-6  | データ不足   | 該当なし | 該当なし           | 該当なし         | 該当なし               |
| D-リモノン        | 5989-27-5  | 実験 生分解性 | 14 日 | 生物学的酸素要求量      | 98 %BOD/ThOD | OECD 301C-MITI (1) |
| D-リモノン        | 5989-27-5  | 実験 生分解性 | 14 日 | DOC（溶存有機炭素）残留量 | >93.8 DOC除去% | OECD 303A - 模擬好気性下 |
| ノルマルパラフィン（石油） | 64771-72-8 | データ不足   | 該当なし | 該当なし           | 該当なし         | 該当なし               |

## 生体蓄積性

| 材料            | CAS番号      | 試験の種類                     | 期間   | 試験の種類         | 試験結果 | プロトコル      |
|---------------|------------|---------------------------|------|---------------|------|------------|
| コットンパッド       | 9004-34-6  | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし          | 該当なし | 該当なし       |
| D-リモネン        | 5989-27-5  | モデル 生態濃縮                  |      | 生物濃縮係数        | 2100 | Catalogic™ |
| D-リモネン        | 5989-27-5  | 実験 生態濃縮                   |      | オクタノール/水 分配係数 | 4.57 |            |
| ノルマルパラフィン（石油） | 64771-72-8 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし          | 該当なし | 該当なし       |

## 土壌中の移動性

データはない。

## オゾン層への有害性

データはない。

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

## 国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

## 国内法規制及び関連情報

## 日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

消防法：指定可燃物（可燃性固体類）

## 主な法規制物質

## 労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

| 成分            | 法律又は政令名称 | 2025年3月31日迄 | 2025年4月1日以降<br>2026年3月31日迄 | 2026年4月1日以降 |
|---------------|----------|-------------|----------------------------|-------------|
| D-リモネン        | D-リモネン   | 適用しない       | 該当                         | 該当          |
| ノルマルパラフィン（石油） | 鉱油       | 該当          | 該当                         | 該当          |

## 16. その他の情報

## 改訂情報

セクション1：製品名 情報修正.  
 セクション2：環境影響ステートメント 情報修正.  
 セクション2：GHS分類 情報修正.  
 セクション2：健康有害性 情報修正.  
 セクション2：物理化学的危険性のステートメント 情報の削除.  
 セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正.  
 セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.  
 セクション2：注意書き - 保管 情報修正.  
 セクション2：ラベル要素の追加GHS情報 情報の追加.  
 セクション3およびセクション9：物理的情報 情報修正.  
 セクション3：成分表 情報修正.  
 項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.  
 セクション4：応急措置（眼に入った場合）の情報 情報修正.  
 セクション4：応急措置（皮膚の接触した場合）の情報 情報修正.  
 セクション5：火災時情報（消火法） 情報修正.  
 セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.  
 セクション5：火災時情報（特殊有害性） 情報修正.  
 セクション5：燃焼時有害性の表 情報の追加.  
 セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正.  
 セクション6：事故漏出時の措置 情報修正.  
 セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.  
 セクション7：貯蔵情報 情報修正.  
 セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.  
 セクション8：作業環境許容値 情報修正.  
 セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.  
 セクション9：引火性情報 情報修正.  
 セクション9：揮発分 情報修正.  
 セクション9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.  
 セクション10：避けるべき条件 情報修正.  
 セクション10：有害な分解物の表 情報修正.  
 セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.  
 セクション11：急性毒性の表 情報修正.  
 セクション11：吸引毒性の表 情報修正.  
 セクション11：発がん性の表 情報修正.  
 セクション11：生殖細胞変異原性の表 情報修正.  
 セクション11：健康影響情報（皮膚） 情報修正.  
 セクション11：生殖毒性の表 情報修正.  
 セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.

セクション 1.1 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.  
セクション 1.1 : 皮膚感作性の表 情報修正.  
セクション 1.1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.  
セクション 1.1 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.  
セクション 1.2 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.  
セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報修正.  
セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.  
セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.  
セクション 1.5 : 労働安全衛生法の表 情報修正.  
セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

**3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**